

第2回横浜市瀬谷区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和8年7月21日(火) 14時00分～17時00分
開 催 場 所	瀬谷区役所5階大会議室
出 席 者	選定委員：藤嶋委員長、新谷委員、高岩委員、廣瀬委員、宮崎委員（計5人） 事務局5人
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（議題1、3及び4） ※面接審査のみ傍聴可（応募団体の関係者は、自身が所属する団体の面接審査のみ傍聴可）（傍聴者8人）
議 題	1 審査について 2 面接審査（応募団体のプレゼンテーション・質疑応答） 3 最終審査・採点 4 結果報告
決 定 事 項	1 横浜市瀬谷区民文化センター指定候補者に「相鉄・アーツスプレッド共同事業体」、次点候補者に「神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体」と決定。
議 事	選定委員5人中5人出席。定足数を満たしているため、本委員会は成立。 会議の公開・非公開については、面接審査のみ傍聴可能とするとともに、応募団体間の公平性を確保するため、応募団体の関係者は、自身が所属する団体の面接審査のみ傍聴可能とすることを確認。 1 審査について (1) 審査方法 事務局から審査方法を説明。また、市税の滞納がないこと、暴力団又は暴力団経営支配法人等にも該当せず、資格要件を満たしていることを報告。 (2) 応募団体の財務状況 廣瀬委員から、団体Aの財務状況及び経営状況について、施設運営に支障がないことを説明。団体Bの財務状況及び経営状況について、構成団体において、固定資産の拡充により収支差額が減少しているが、団体として施設運営には、支障がないことを説明。 2 面接審査 (1) 団体A ア プレゼンテーション イ 質疑応答 (委員) 地域の団体として年に何度か利用しているが、あじさいプラザから協力の依頼を受けたことがなく、地元住民としては、正直寂しい思いがある。地域に根差した事業を展開したいから協力をお願いできないかといった形で、もっと地元の人たちとの協力体制を密接に作れると思うが、どのように考えているか。 (団体) 第1期指定管理期間では、地元の方々との協力についてお声がけは出来な

	かった。第2期指定管理期間では、プラザアートウィークや夏祭り等の指定管理業務と一緒に盛り上げていただけるよう、区内の様々な団体や企業、自治会町内会の皆様にお声がけしていきたいと考えている。 (委員) 横浜グリーンエキスポのグッズ販売やチケット販売に協力する旨の記載があるが、ただグッズを販売するだけでなく、横浜グリーンエキスポの魅力を発信しながら、グッズやチケット販売に繋げていただきたい。また、夏祭り等の指定管理業務の説明があったが、文化施設であるので、日本の文化とは何かという視点で取り組んでいかなければ、文化は醸成されないと思うので、その辺も取り組んで欲しい。 (委員) ピアノの調律について、年2回実施していると思うが、有料コンサート等の際は、個別に調律をしているか。調律が不十分な状態で公演が実施されているように感じるがあった。 (団体) 定期調律は、保守点検も含めると年3回実施している。その他には、指定管理業務の公演でピアノを使用する際や、利用するお客様が調律することもある。今後、これまで以上に調律の回数を増やしていこうと考えている。 (委員) 夏祭りイベントを実施すると説明があり、施設の認知度を上げるために重要なイベントになると思うが、芸術から離れてお祭りに近い形なのか、芸術に寄り添った形で実施するのか、具体的な実施イメージはあるのか。 (団体) 夏祭りに関して、音楽多目的室では、市民・区民の公募によるコンサートを実施し、ギャラリーでは、縁日のようなお祭りを実施し、幅広い年齢の方に楽しんでいただける催しを同時に開催していきたいと考えている。 (委員) 区内には、絵だけでなく、様々なものを作ったり、書いたりしている方がたくさんいる。夏祭りだけでなく、そのような方々に向けた文化祭のような取組も検討して欲しい。 (委員) 自治会・町内会への情報提供について、2か月に1回もしくは3か月に1回程度、掲示板に掲示できるようなチラシで情報提供が欲しいが可能か。 (団体) 自治会・町内会の掲示板には大きな周知効果があると感じている。検討して実施していく。 (委員) 来年、横浜グリーンエキスポが開催されるが、瀬谷区としてはすごいチャンスだと思う。いろんなアイデアも活かせるのではないかなと思うが、何か計画されているものはあるか。 (団体) 現在も横浜グリーンエキスポに関連したイベントを実施している。また、来年の本番に向けては、横浜グリーンエキスポに関連する企業からお声がけをいただいたので、一緒に盛り上げていきたいと考えている。 (2) 団体B ア プレゼンテーション イ 質疑応答 (委員) マンスリーコンサートについて、瀬谷区にはアジア圏の方々も多い。アジ
--	---

	ア圏の方が来られるコンサートや取組の提案が欲しかった。 また、近隣の大学の先生や地元の方が実施するコンサートなどは、あじさいプラザのキャパシティだとチケットが買えないことがあるが、公会堂で実施することで、公平に参加することができると思うので、検討して欲しい。 その他にも障害者向けのイベントについて、「障害者のために」ではなく、「障害者も健常者も共存する」という視点でイベントを考えて欲しい。お互いが協力すれば、障害者は住みやすくなる。そういった取組を地域の文化施設で実施することは大切だと思うので、検討して欲しい。 (団体) アジア圏の方々に向けたコンサートについて、アジア圏の方とも交流があるので、ぜひこの施設を活用して交流を盛んにしていきたいと思っている。障害者向けのコンサートについて、アウトリーチで障害者施設に行くことがあるが、施設が充実している一方で、その施設内で完結していることも多い。外に出てきていただくのは大変なこともあるかもしれないが、普通に自然に交流することが大切だと考えている。 (委員) 提案書から大きい施設の運営は得意に見えたが、あじさいプラザは大きな施設ではないので、集客についてどのように考えているか。使命1の利用率目標について、来年には横浜グリーンエクスポも開催されるのに、少し低いのではないかと感じた。 また、マタニティコンサートや育児コンサートについては、瀬谷区として地域のみんなで子供を育てるということをやっている中で、ぜひ実施して欲しい。 (団体) 集客について、当団体ではキャパシティ 400 名の施設の指定管理もしているが、すべての公演で 400 名のキャパシティを埋めるのは難しいと感じている。さらに他の施設で実施しているコンサートでは、毎回 100～150 名程度集客ができています。しっかり広報して多くの方に来ていただかなければならないが、現実的に 100 名というのは、あじさいプラザのキャパシティにぴったりの数字だと感じている。また、公演に来ていただいた方のアンケートを見ると、子育て世代や現役世代、シニア世代とそれぞれ参加できる時間や状況がバラバラで様々な意見をいただいているので、規模を 100 名程度に絞って、それぞれの世代の方に合ったコンサートを実施していきたいと考えている。 (委員) 団体Aにも聞いた質問だが、あじさいプラザは文化施設なので、日本の文化とは何かという視点で事業に取り組んで欲しいと思うが、どうか。 (団体) 20 年以上文化活動を続ける中で、総合的に繋がりを持ちながら広くイベントを実施していくことが、新たな興味を広げていくという意味でも大事なことであると感じている。他館の実績だが、日本の伝統文化に触れるワークショップを実施している。日本らしさを十分に取り入れたワークショップの実施を考えている。 (委員) 提案書から音楽の方面に強い団体に見えるが、アートの方はどうか。世界
--	--

	中でアート活動をしている個人・団体があるが、どのような交流ができるかという提案が欲しかった。また、他の委員からも発言があったとおり、瀬谷区には様々な国籍の方が暮らしているため、もっと多面的な視点での提案も欲しかった。 (団体) 今回の提案では、コンサートの提案が多かったが、過去には中札内村北の大地ビエンナーレに携わった経験がある。そこでは、絵画や彫刻の先生方との出会いがあり、その後のアウトリーチ活動に繋がる関係性を構築できている。また、これまでの経験から地元の方からご意見や情報をいただくことが重要だと考えている。こんなに素晴らしいギャラリーは他にないし、ご指導いただきながらギャラリーを充実させていきたいと強く思っている。 (委員) 日頃からあじさいプラザを利用している人は場所を知っているが、どこにあるか知らない方がいるのも現実。もっと様々な人の目に触れるような場所にポスター等を掲示し、地域の文化施設ということをアピールして欲しい。 (団体) 誰もがすぐにあじさいプラザはここにあるということを分かるようにしなければならないと思っている。周知を含め任せていただきたい。 (委員) ピアノの調律について、定期調律は年何回を想定しているか。また、定期調律以外にスタッフが違和感を覚えた際には、調律を実施するか。 (団体) 定期調律については、年2回実施する予定。その他、利用者が実施することも想定している。 (委員) 現在のあじさいプラザでは、ほとんど調律をしないで発表会をしている人が多い。そうするとだんだんとピアノの音が狂ってしまう。利用者自身で調律をするため、コンサート前日に音楽多目的室が空いていれば調律の時間として割引することはできるのか。地域の先生からすると、調律のためだけに正規の値段を払うのは辛いことだと思う。 (団体) ピアノのメンテナンスについては、これから丁寧に検討していく。利用料金については、委員ご指摘のとおり、調律のためだけに正規の料金をお支払いいただくのはご負担が大きいと思う。割引制度として、リハーサル割引を設ける予定であり、そこでメンテナンスをしていただくといった柔軟な対応も考えている。 (委員) 瀬谷区は南北に長いこともあり、施設の認知度の向上のためには、アウトリーチが非常に大事だと考えている。2年前から器具・備品や車を購入しているが、アウトリーチ事業に対して効果があったか。 (団体) アウトリーチでは、弦楽器体験会をよくやる。様々なサイズの弦楽器を現地に持っていき、きっかけづくりを行っている。また、少し質問から離れてしまうが、きっかけづくり後に、興味を持った子ども達が継続して楽器に触れていくことが、非常に大事であると考えており、そういった意味で、区内の方々と連携し情報を集めて、地域文化の向上を目指していきたいと考えている。
--	---

	3 審査結果について 審議結果は、団体Bが688点となり、「相鉄・アーツスプレッド共同事業体」を指定候補者とすることを決定。団体Aが646点となり、「神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体」を次点候補者とすることを決定。 (講評) ・団体Aは、コロナ禍での開館となり、最初の3年間は本当に大変だったと思う。その時期にあじさいプラザの管理・運営をしていただいたことに感謝している。 ・団体Aには、具体性のある提案が少なく感じた。指定管理者が変わることで、あじさいプラザがどう変わっていくか見ていきたい。 ・期待を込めて団体Bを高く評価した。 ・団体Bの方が、提案内容や質問への回答に具体性があった。また、「ぜひ我々に」という熱量を感じた。 ・団体Bは、施設管理に精通しており、確実な保守点検の実施など安定した設備管理にも期待したい。 ・横浜グリーンエキスポに向けた取組でも、団体Bの提案にやる気を感じた。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 (1) 審査に関する確認事項